

病気を知って
早めの受診が
大切です

健康 百科

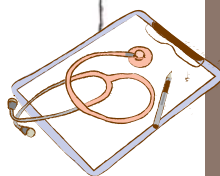
普段から健康に気を使っているも、わずかな体調の変化は見逃しがちです。そんな時、病気の知識があれば早めに対応できそうですね。このコーナーでは、いつでも起こりうる、生活に身近な病気の症状と対策についてご紹介していきます。



【監修】
川崎医科大学附属川崎病院
眼科 古瀬 尚 医長
岡山市北区中山下2-1-80
TEL:086-225-2111 (代表)

今月の「気をつけたい病気」

ウイルス性結膜炎



夏は紫外線による目のトラブルのほか、高温多湿でウイルスが繁殖しやすく、プールでの感染など結膜炎が多くなる時期です。感染拡大を防ぐためにも日頃の予防が大切です。

結膜炎の種類と特徴は？
職場や学校内で集団感染も。その多くは、アデノウイルスが原因。

結膜炎の中では、アレルギー性結膜炎と並んで多いのがウイルス性結膜炎です。アレルギー性と大きく違うのは**感染力が**

あることです。特にアデノウイルスによる「**流行性角結膜炎**」

は最も感染力と症状が強く、まぶたの腫れや大量の目やにで目が開けられないこともあります。同様のウイルスで、プールを介した感染が多い「**プール熱(咽頭結膜熱)**」は、目の痛みやかゆみに加え、のどの痛みや発熱など夏風邪のような症状が特徴です。強い目の痛みや異物感で始まり、結膜下出血で白目が真っ赤になる「**急性出血性結膜炎**」は、エンテロウイルスやコクサッキーウイルスが原因の非常に珍しい病気です。

どんな症状？

目の結膜に、
ある種のウイルス
が感染して炎症に。
充血や痛みあり。

ウイルスの感染によって結膜が充血し、目やにや涙が出たり、ゴロゴロした目の痛みなどを起こします。感染力が強いので、家庭内や学校内など集団感染の原因にもなります。

ウイルス性結膜炎の治療

有効な薬がない病気。二次感染の予防のためにも早めの受診を！

ウイルス性結膜炎の特効薬は今のところありません。角膜混濁などの合併症が起きると、視力に影響することもあるので注意が必要です。本来は**感染したウイルスに対する免疫**ができて自然治癒しますが、**感染力が強い**ため、学校や仕事を休むなどの**感染予防が重要**です。感染が疑われたら、**早めに医師の診察を受けましょう。**

ウイルス性結膜炎に なってしまったらコレ

- ✓ 手を石けんと流水でよく洗う
- ✓ ティッシュなど、使い捨てができるもので目を拭く
- ✓ お風呂は最後に入り、お湯は捨てる

【結膜のはたらき】

結膜とは、黒目の周囲からまぶたの裏側までをおおっている粘膜です。眼球が上下左右に動くために、眼球とまぶたの間の連結をになうと同時に、ゴミなどの異物の侵入を防ぎます。さらに結膜は抗菌作用のある粘液や涙を分泌して、目の表面を防御しますが、このいつもぬれた状態が細菌やウイルスの繁殖に最適な環境を提供しているともいえます。

眼球の垂直断面図

